

天童市立第二中学校だより 第5号

# 二中だより

さとく うつくしく たくましく

令和6年8月29日 文責：校長 鎌田さとみ

## 2学期始業式

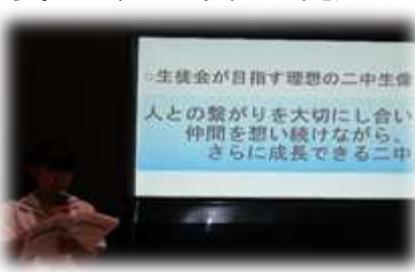
### ～「挑戦し続ける人」を目指して～

校長の話より (抜粋)

2学期は登校日数が一番多く81日間です。この81日間を充実したものにできるかどうかそれはみなさん自身の行動にかかっています。この2学期、私はみなさんには「挑戦し続ける人」を目指して行動してほしいと思っています。単に新たなことに挑戦することを望んでいるわけではありません。挑戦し続けることを大事にしてほしいと思います。

私はこの夏休み行われたパリオリンピックを非常に楽しみにして、時間の許す限りTVを見て、各選手を応援していました。きっと皆さんもたくさんオリンピック競技を見ていたのではないかと思います。オリンピックでは、様々な感動があったのですが、その中で特に心に残っているのが、金メダル連覇を期待された柔道女子52kg級の阿部詩選手の2回戦敗退や、病气から復帰して決勝には残りたいと必死に練習してきた水泳の池江璃花子選手の予選敗退など、みんなが望む、そして最も自分が目指した結果が残せなかった選手の姿です。負けを受け入れられず、泣き崩れたり、これまでやってきたことの意味を問い、自分は何のためにやってきたんだ、自分は弱いんだ、だめなんだと自暴自棄になってしまったりと、結果が出てすぐの時こそ、そんな姿がありました。その後、彼女たちから出た言葉は、「また四年後のロスオリンピックに向けて挑戦します」「次は望む結果が出せるようにまた一から練習を頑張ります」という言葉でした。人間誰ももうまくいかなかったり、思うような成果が出なかったりするときがあるかもしれませんが、しかし、あきらめずに挑戦し続けることが人間にとって大事なのではないかということ、今回のオリンピックの選手の姿から改めて感じました。

2学期の学校生活において、みなさんに様々なことが起こるでしょう。苦しいとき、うまくいかないときもあるでしょう。大事なことはそこで投げ出したり、あきらめたりするのではなく、もう一度頑張ってみる、挑戦し続けることだと思います。そして、次うまくいくために「今、自分は何ができるか」と考える習慣をもってほしいのです。2学期は、みなさんが活躍する場面がたくさんあります。学校の主役は言うまでもなくみなさんです。授業で、学級で、部活動で、生徒会や委員会、係活動、行事等で、「今、自分に何ができるか」という発想をして、挑戦し続ける姿を見せてください。中学生の今だからこそ、挑戦し続けることがたくさんあるはずです。そして、二中生308人それぞれが「今、自分に何ができるか」を考え、挑戦し続け、行動をしたら、これは相当すごい力になると思います。2学期の皆さんの姿に期待します。二中生全員で 充実の2学期を創り上げましょう。



天童市中学生意見交換会  
より(7/31)

## <生徒の活動の記録>

### ◆全国大会

#### ○陸上部（福井）

・女子共通 200m ○○○○ 26 秒 08（追風 2.5m）組 6 着 予選敗退

### ◆東北大会

#### ○卓球部（福島）

・男子個人 ○○○○ 1 回戦 対 ○○選手(福島) 0-3 で惜敗

#### ○陸上部（宮城）

・男子低学年 4×100mR 予選 ○○、○○、○○、○○

※予選 3 組 8 位 記録 48 秒 87 決勝進出ならず

#### ○水泳部（山形）

・男子 400m 個人メドレー ○○○○ 2 位

・女子 400m 個人メドレー ○○○○ 失格

・男子 200m 個人メドレー ○○○○ 3 位

・女子 200m 個人メドレー ○○○○ タイムレース決勝 9 位入賞ならず

### ◆山形県吹奏楽コンクール

#### ○吹奏楽部 中学生小編成の部 銀賞

### ◆第63回天童地区少年の主張大会

最優秀賞 ○○○○(ブロック大会へ)

優良賞 ○○○○

### ◆東南村山地区英語弁論大会 スピーチの部 学校代表 ○○○○



第 63 回天童地区少年の  
主張大会より(8/26)

天童地区少年の主張大会では、市内中学校の 8 名の弁士の発表を、今年は二中生みんなで聞くチャンスを得ました。○○○○さんの弁論からは、自分が好きなこと、興味のあることを突き詰めていくと、いろんな夢や希望が広がるということ、そして何かのきっかけや体験から、その好きなことについて新たな見方や考え方をしてみようと気づき、また挑戦していくことでさらに世界が広がり、明るい未来へつながっていくということ。なんて前向きで素晴らしいことだと感じました。また、○○○○さんの弁論は、職場体験での地域の方の一言から、身近な自分の地域を盛り上げていくには、若い自分たちができることは何かを考えることから始めることの大切さを訴えていて、感動しました。二人とも堂々と自分の体験から、自分の意見を述べており、感心しました。また、当日の運営を担当した生徒会の皆さんも立派でした。二中生の活躍が嬉しかったです。ありがとうございました。

保護者の皆様、地域の皆様、二学期も様々な教育活動においてご協力、ご支援いただきますよう  
どうぞよろしく申し上げます。